

社団法人私立大学情報教育協会
平成 28 年度第 3 回 基本調査委員会 議事概要

- I. 日時 : 平成 28 年 10 月 20 日 (木) 午前 18 時 00 分から 20 時 00 分まで
II. 場所 : 私情協事務局
III. 出席者 : 高橋理事、真鍋委員長、井上委員、今井委員、高木委員、今泉アドバイザー
井端事務局長、森下、中村
IV. 資料
① 平成 28 年度私立大学教員の授業改善調査の調査票 (第 2 次案)
② 平成 28 年度私立大学教員の授業改善調査の実施スケジュール (再)
③ 平成 25 年度私立大学教員の授業改善白書

V. 議事内容

1. 平成 28 年度私立大学教員の授業改善調査の調査票の設計

第 2 回委員会で確認した「平成 28 年度私立大学教員の授業改善調査の方針及び調査内容」を基に調査票 (第 2 次案) について検討と修正を行った。

主な修正点

調査項目 2. 教育現場での問題認識

(2) 教員に関する問題

- ⑤ 「組織的な学修支援の取り組みが弱い
- ため、授業の質向上への対応に限界がある」を
- ⑤ 「人的物的支援が弱く、授業の質向上への対応に限界がある」に修正した。

調査項目 3. アクティブ・ラーニング (AL) に対する取り組み

・本調査でのアクティブ・ラーニングの定義を明確にするため以下の説明を追加した。

※アクティブ・ラーニングとは、教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、能動的な学修を取り入れた教授・学修法を指します。発見学修、問題解決学修、体験学修、調査学修等が含まれますが、教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等も効果的なアクティブ・ラーニングの方法です。

- ・ (2) から (4) の設問について、アクティブ・ラーニング (AL) を実施している教員、実施していない教員を分けて集計するため設問を以下のように修正した。
- (2) AL を実施している、または検討中の方は、AL の種類を 1 つ選び、塗りつぶして下さい。
- (3) AL を実施している、または検討中の方は、AL を実施する方法を 2 つ以内選び、塗りつぶして下さい
- (4) AL を実施している方は、AL の教育効果について 3 つ以内選び、塗りつぶして下さい。
- (5) AL を実施していない場合、その理由を 3 つ以内選び、塗りつぶして下さい。
- (6) AL 実施の有無に関わらず、AL を推進・普及するための課題について該当する番号を塗りつぶして下さい。(複数回答可)

調査項目 4. 教学マネジメントに対する関与の仕方について

・「組織的に教育改革を進める教学マネジメントへの関与の仕方について、先生の受けとめ方について該当する番号を塗りつぶして下さい。(複数回答可)」を分かりやすいように修正した。

↓

・「組織的に教育改革を進める教学マネジメント に対する先生の関与の仕方について、該当する番号を塗りつぶして下さい。(複数回答可)」

・設問②

「3ポリシー（卒業認定・学位授与、教育課程編成・実施、入学者受け入れ）は知っているが、担当する授業との整合性を図っていない。」を以下のように修正した。

↓

「3ポリシー（卒業認定・学位授与、教育課程編成・実施、入学者受け入れ）は知っているが、担当する授業との整合性は十分でない。」

・設問④

「学士力と授業科目との関係性を明確にするため、シラバスの内容を関係教員間で相互に検討している。」を以下のように修正し、順を入れ替え③とした。

↓

・設問③

「学士力と授業科目との関係性を明確にするため、シラバスの内容を関係教員間で相互に検討を始めている。」

・設問の順を入れ替え修正した。

調査項目 5. ALなど授業改善のための情報通信技術（ICT）の活用状況

・活用目的「学修成果の点検・評価・改善」の14と15について、より明確で分かりやすい表現に設問を修正した。

「学修成果の点検・評価・改善」

14 eポートフォリオなどの支援システムで学修行動・学修状況を観察し、個人指導を行いながら、学修成果を確認する。

以下に修正↓

14 eポートフォリオで学修行動・学修状況を観察し、メールで個人指導などのフィードバックを行いながら学修支援し、到達度を確認する。

15 ルーブリック評価の内容を改善するため、評価基準をネット上でオープン化し、学生からの意見を反映できるようにする。

以下に修正↓

15 学修成果の評価基準を可視化するため、ルーブリック評価の内容をネット上でオープン化し、学生からの意見を反映できるようにする。

2. 今後の予定

本日修正・作成した平成28年度私立大学教員の授業改善調査の調査票（案）を第48回理事会（11月5日）、第17回臨時総会（11月25日）に報告・説明し調査を開始する。

3. 次回のテーマ

平成28年度私立大学教員の授業改善調査の「中間まとめ」について検討する。

4. 次回の委員会

平成29年2月～3月初旬とし、別途日程調整する。